

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	自治公民館等整備事業(備前)	コード	03-02-04-05
		担当課・係	備前地域公民館
		担当者	川口 進
事業実施期間	昭和59年度~	電話	64-1133
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	生きがいのあるまちづくり	
	小項目(施策)	公民館	

事業について	
目的 (何のために)	各地区及び町内会が管理運営をしている公民館の類似施設(自治公民館及び集会所等)に対して、地区社会教育活動の拠点施設としての充実、発展に役立てるための施設整備等に対する助成を行う。
対象 (誰・何を対象に)	備前地域の自治公民館(120館)
内容	自治公民館及び集会所等の新築、増改築、修繕、下水道排水設備工事、備品購入に要した経費に対し、40%の補助率(新築の場合50%)で、補助金限度額を超えない範囲において支給する。

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
補助金交付要案件数	11 件	14 件	
補助金交付実施件数	11 件	14 件	
補助金交付金額	3,475,000 円	11,030,000 円	
自治公民館総数	120 館	120 館	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	3,475	国庫補助金等		直接事業費	11,030	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	3,510	受益者負担		人件費	1,740	受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債			市債		市債		市債		市債		
合計	6,985	一般財源等	6,985	合計	12,770	一般財源等	12,770	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.40 人	0.25 人	
結果指標名	補助金交付実績	補助金交付実績	
結果指標量	11	14	
単位	件	件	
対前年比	-	127.27%	0.00%
活動にかかるコスト	6,985,000 円	12,770,000 円	
単位当たりコスト	635,000 円	912,143 円	

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	地域住民活動の活性化の一助となること
成果指標名	実施率(%)
式又は説明	実施件数/要案件数
成果指標量	17年度: 100, 18年度: 100
対前年比	-
到達目標値	100

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等: 備前市自治公民館・集会所等施設整備備働業補助金交付要綱	妥当性評価<A~E> B
対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	大規模整備事業の補助金の交付を受けた自治公民館及び集会所等は、3年間は補助を受けられない、という要綱の定めにより、一部の自治公民館に補助が集中することのないよう配慮している。しかし、要望の内容については慎重に精査する必要がある。
市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	平成18年度は新築が2件あり、前年度に比べ事業費が増加した。事業の性格上、要望件数とその内容により、年度毎に必要な事業費が大きく変動する。
職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	事業実施のためには予算が承認される必要があるため、要望を前年度の10月に取りまとめている。それゆえ、実際に着工が可能となるまで時間がかかるという事業の性格を十分に理解していただく必要がある。
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	要望数10件、予算額3,740千円
目標値	結果指標量 10	結果指標量		100%

総合評価	平成18年度は、要望が14件あり、全て対応することが出来た。	評価区分<A~E> B
------	--------------------------------	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果